

令和6年度 教 育 目 標

1 学校教育目標

「質実剛健」を校訓とし、「技術者となる前に人間となれ」を信条として、新時代を主体的・創造的に生き、知徳体※1をそなえ、地域の希望となり未来となり光となって、山梨や日本を支え、世界に羽ばたくエンジニアを育成する。

※1 知：「確かな学力」 徳：「豊かな心」 体：「健やかな体」

2 指導方針

- 1 新しい時代に必要となる資質・能力をそなえ、地域社会や産業界をけん引する人材を育成する。
- 2 人間教育を最重点に「ものづくり」「進学」「部活動」の各分野で全国トップレベルの工業高校を目指す。

3 指導重点

1 社会が必要とする人間力を育成する。

- (1) 基本的生活習慣の定着を図り、規範意識を育む。
- (2) 教育活動全体を通して人間教育を行い、道徳性を養う。
- (3) 社会人としての基礎力を育成し、自らの考えで行動できる力を育む。
- (4) 地域社会や企業と連携した活動を通して、社会の一員としての自覚と責任を持たせ、社会に貢献できる人を育てる。

2 基礎的・基本的な学力の定着を図る。

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を実践する。
- (2) 学科の特色を生かし、基礎基本の上に専門的な知識や技術を身に付けさせる。
- (3) 目指す技術者をイメージさせ、資格取得・大会等への挑戦を通して進路実現を図る。
- (4) 教育活動全体を通してコミュニケーション力を育成する。

3 健全な心身を育成する。

- (1) 部活動・委員会活動をより活発に展開し、豊かな人間性を育む。
- (2) 体育・スポーツを積極的に推進し、体力・精神力の向上を図る。
- (3) 健康、安全や食に関する教育を行い、自他の生命を尊重する心を育む。

4 新しい時代に対応した教育活動を推進する。

- (1) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)事業の成果を活用し、課題解決力・創造力を育成する。
- (2) 系統的・体系的なキャリア教育を推進し、勤労観や職業観を育成する。
- (3) 専攻科において、高度な知識や技術・技能、設計力の育成を推進する。
- (4) 学校教育全体において、ICT機器を活用できる力を育む。